

## 団体概要書

(その1)

団体名	公益社団法人上方落語協会		団体の種別 ※いずれかの□にチェックしてください。	<input checked="" type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 認定NPO法人 <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の 役職・氏名	(ふりがな)                      しょうふくてい    じんち  代表理事      笑福亭    仁智			
主たる事務所の所在地	大阪市北区天神橋2丁目1-34			
設立年月	平成16年8月    (団体結成 昭和32年)	構成員数	264人	
事業年度	4月1日 から 3月31日			
団体の活動 目的	上方落語を中心とする寄席芸能の普及向上、継承・保持に関する事業を行い、もって我が国文化の発展を寄与することを目的とする			
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。  14 その他の芸術文化			
主な活動内容	上方落語鑑賞会の実施 定席寄席公演の実施 上方落語の後進の育成			
これまでの主な活動実績	※ 具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。  昭和32年に任意団体として発足し、ほぼすべての上方の落語家が所属する団体として、上方落語の上演普及、後進の育成に努めています。組織としては平成16年に社団法人化したのち、法制の改革に伴い、平成23年に公益社団法人に移行いたしました。  平成18年には上方の落語家の悲願であった落語専門の劇場、定席「天満天神繁昌亭」の運営をスタートし、毎日、上方落語を上演している場所として、多くの方にご来場いただいています。			
ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> (URL                      www.kamigatarakugo.jp                      ) / 無			
機関紙	<input type="checkbox"/> 有 (機関紙名                      ) / <input checked="" type="checkbox"/> 無			

「活動分野」大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

- 1 音楽   2 演劇   3 舞踊   4 美術   5 写真   6 映像   7 文学   8 文楽   9 能楽   10 歌舞伎  
11 茶道   12 華道   13 書道   14 その他の芸術文化

寄附者へのPR等

(その2)

<p>貴団体における現在の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・まだ、落語を生でご覧になったことのない方に、広く上方落語を知って頂くこと。</li><li>・実際に劇場など、落語会の会場に足を運んでいただくこと。</li><li>・全国各地での上方落語会の実施。</li><li>・新規入門者に対する指導。</li></ul>
<p>貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)</p>	<p>その時代の変化に上手く対応しながら、江戸時代から現代に受け継がれてきた落語の歴史を、次の世代の落語家につないでいきたい。</p> <p>一人一人の落語家が芸道に精進することはもちろんのこと、団体として、上方落語がより多くの場所で演じられる基盤をつくり、より多くの方に継続して生の高座を見ていただける環境を整えていきたい。</p>
<p>市民等寄附者に対するPR</p>	<p>落語は一人で何人もの登場人物を演じ分け、扇子と手ぬぐいをあらゆるものに見立てて表現する日本独特の芸能です。上方（大阪・京都）と江戸（東京）のそれぞれの土地で、互いに影響を与えあいながら演じられ、受け継がれてきました。上方落語の特徴として三味線や太鼓が効果音・BGMとして使われる「はめもの」入りの演目が多数あり、江戸落語とは違った陽気さ、華やかさがあります。</p> <p>今や落語は国語の教材にも取り上げられていますが、元来は落し噺、滑稽噺としてただただ面白い芸能です。落語の楽しさを味わううちに自然とコミュニケーション力が身につく、想像力、表現力が養われるものと考えます。</p> <p>ぜひ、大阪の誇れる文化として、これからの「上方落語」にご支援頂きたいと思っております。</p>